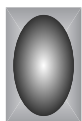


# INFORMATION



## OIST International Workshop : Molecular & Structural Organization of Presynaptic Function and Plasticity 開催のお知らせ

OIST では「シナプス前末端の分子・形態・機能・可塑性」をテーマに国際ワークショップを開催いたします。

【日時】2011年9月7日(水)～9月9日(金)

【場所】沖縄科学技術研究基盤整備機構(沖縄県国頭郡恩納村)

【主催】独立行政法人・沖縄科学技術研究基盤整備機構(OIST)

【口演予定者】(アルファベット順)

Dieter Bruns (Univ Saarland, Homburg)

Graeme W Davis (UCSF, USA)

Yukiko Goda (MRC, UCL, London)

Volker Haucke (Univ Göttingen)

Reinhard Jahn (Max-Planck-Institut, Göttingen)

Alain Marty (CNRS, Paris)

Chris J McBain (NIH, USA)

Erwin Neher (Max-Planck-Institut, Göttingen)

Silvio Rizzoli (Eur Neurosci Inst, Göttingen)

Tim A Ryan (Cornell Med Coll, USA)

Ryuichi Shigemoto (NIPS, Okazaki)

Oleg Shupliakov (Kalorinska Inst, Stockholm)

Jakob Sorensen (Vrije Univ, Amsterdam)

【参加者募集】

若手研究者を中心に参加者を募集します(最大21人)。参加者にはポスター発表をしていただき、旅費と滞在費が支給されます。

応募方法の詳細はホームページをご参照ください。

【応募締切日】2011年6月17日(金)

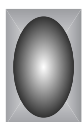
【ホームページ】

<http://www.irp.oist.jp/synapse/TakahashiU/takahashi/index.html>

随時更新致します。

【連絡先】presynapse2011@oist.jp

【世話人】高橋智幸(OIST), 高森茂雄(同志社大学), Ian D Forsythe(Leicester大学)



## 公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

### 平成23年度研究助成(学術賞・研究助成・留学補助)

・持田記念学術賞

持田記念学術賞は、生命科学を中心とする医学、薬学及びこれに関連する物理学、化学、工学、生物学等の先見的独創的研究を育成し、かつ、これらの成果を総合して医療をはじめとするヘルスケアに応用し、もって我が国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とし、下記(1)から(6)までの研究分野において研究の進歩発展のため顕著な功績のあった研究者について全国の主要

学会及び本財団の理事、諮問委員にその推薦を依頼し、2件以内を採択する。

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究
- (3) 免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関

## する研究

- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬の臨床応用に関する研究

尚、持田記念学術賞の申請には日本生理学会の推薦が必要です。生理学会の推薦を受けたい方は、財団ホームページを参照してください。必要事項を書き込み、必要書類を添えて、日本生理学会へお申込みください。なお、締切は6月30日とします。

### ・研究助成

生命科学を中心とする医学、薬学及びこれに関連する物理学、化学、工学、生物学等の先見的独創的研究を育成し、かつ、これらの成果を総合して医療をはじめとするヘルスケアに応用し、もって我が国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とし、下記(1)から(6)までの研究課題の研究を国内にて行う研究者(満45歳未満)を対象に公募を行ない、研究助成金交付対象者として80件以内を選考採択する。研究助成金の対象となる経費は、研究に直接要する物品の購入費用、その他研究推進に必要な費用とする。

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究
- (3) 免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬の臨床応用に関する研究

### ・留学補助

生命科学を中心とする医学、薬学及びこれに関連する物理学、化学、工学、生物学等の先見的独創的研究を育成し、かつ、これらの成果を総合して医療をはじめとするヘルスケアに応用し、もって我が国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とし、下記(1)から(6)までの研究課題の研究を行う研究者で国内または海外留学を1年以上される方(満45歳未満)を対象に公募を行

ない、留学補助金交付対象者として20件以内を選考採択する。

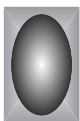
留学補助金の対象となる経費は、本人の渡航費・滞在費等国内及び海外留学に直接要する費用とする。

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究
- (3) 免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬の臨床応用に関する研究

研究助成・留学補助については、所定用紙に必要事項を『応募手順書』に従って記入しメールで応募申請してください。メールにて送信頂いた申請書の内容に不備がないことを本財団事務局にて確認後、書留郵便にて申請書をお送り頂き、メール送信分と郵送の両方が到着した段階で申請は完了と致します。

詳細 URL : <http://www.mochida.co.jp/zaidan/>  
研究助成・留学補助募集年間スケジュール

平成23年4月1日 研究助成・留学補助募集開始  
平成23年6月17日 研究助成・留学補助申請書メール受付終了  
平成23年6月24日 受付番号記載済み研究助成及び留学補助申請書の郵送締切  
平成23年9月中旬 採択候補者の選考  
平成23年9月下旬 贈呈者決定  
平成23年9月下旬~10月上旬 研究助成・留学補助採択通知の発送  
平成23年10月28日 贈呈式  
平成23年11月上旬~12月中旬 研究助成金/留学補助金の交付  
平成24年3月上旬 平成24年度事業内容確定



## 2011年 生理学研究所 第22回 生理科学実験技術トレーニングコース “生体機能の解明に向けて”—分子・細胞レベルからシステムまで—

日 時：2011年7月25日（月）～7月29日（金）

場 所：自然科学研究機構 生理学研究所

講 演：7月25日（月）

大脳皮質ニューロンタイプと局所・遠隔  
回路結合

川口 泰雄（生理学研究所大脳神経回路  
論教授）

講 義：7月25日（月）

動物実験教育訓練：—生理科学研究と動物実験—

佐藤 浩（生理学研究所・動物実験コー  
ディネータ室 特任教授）

実 習：7月26日（火）～7月29日（金）

全15コース（詳細はHPをご参照下さい）

募集人員：約150名

受講料：10,200円（予定）

参加対象：学部学生，大学院生（修士，博士），若  
手研究者（Postdoctoral fellow，企業研  
究者含む）

申込方法：ホームページ上でのオンライン登録

申込期日：5月23日（月）12：00～6月24日（金）  
12：00

連絡先：定藤 規弘（さだとう のりひろ）

生理学研究所 心理生理学研究部門

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷  
中38

TEL：0564-55-7840

E-Mail：training@nips.ac.jp

HP：http://www.nips.ac.jp/training/